

ここからは平成19年度の問題です。平成20年度の問題は平成19年度のものと同じだったため省略しています。平成21年度の問題もほとんど同じだったため、異なる問題のみ後にのせています。
解答も同様です。ご了承ください。

第1～12、15～20問の回答はマークシートに、第13～14、21～24問の回答は問題用紙に記入して下さい。

採
点

1. 精神疾患の原因について、正しいものを2つ選んで下さい。
 - a) 身体疾患によって脳が二次的に障害される精神疾患を、症状精神病という。
 - b) 遺伝因子によって病的過程の生じることが確認されたものを、内因性精神障害という。
 - c) 内因性精神障害の発病には、心理社会的要因も関与している。
 - d) 内因性精神障害には、統合失調症、躁うつ病、てんかんが含まれる。
 - e) 心因性精神障害とは、精神症状の原因となった出来事が明確なものをいう。

2. 主な精神症状について、正しいものを2つ選んで下さい。
 - a) 知覚障害の一種である幻聴は、気分障害には見られない精神症状である。
 - b) 思考途絶は、統合失調症に特有の思考障害である。
 - c) 両価性は統合失調症の患者に多いが、軽い症状は健常者にも見られる。
 - d) 多重人格の患者には、作為体験が見られることが多い。
 - e) 境界性パーソナリティ障害の主な特徴は、誇大性、賞賛への渴望、共感性の欠如である。

3. 意識障害と痴呆(認知症)について、正しいものを1つ選んで下さい。
 - a) 意識障害には、必ず脳器質的な原因疾患が存在する。
 - b) 傾眠は、比較的重度の意識混濁である。
 - c) 老人の夜間せん妄は、意識狭窄によって起こる複雑な意識障害である。
 - d) 血管性認知症に特徴的な精神症状は、記銘力障害と失見当識である。
 - e) アルツハイマー型認知症を発症して間もない患者の多くは、知的な能力の低下をある程度は自覚し悩んでいる。

4. 統合失調症の病型と、それぞれの特徴について、正しいものを2つ選んで下さい。
 - a) 発病する年齢が若い方から順に並べると、緊張型、破瓜型、妄想型である。
 - b) 薬物療法が比較的有効で改善も早いのは、緊張型である。
 - c) 統合失調症の病型が、相互に移行することはない。
 - d) 陰性症状がもっとも目立たないのは、緊張型である。
 - e) 妄想型が慢性化すると、パーソナリティ障害をきたしやすい。

次頁あり